

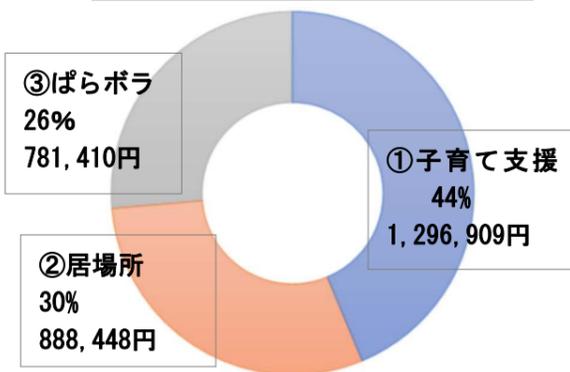
たすけあい通信



発行 認定NPO法人 東灘地域助け合いネットワーク 078-843-4029/843-4446 (FAX)842-2907

リサイクル品の売上金額と使途の報告 (2019年4月1日～2020年3月31日)

●売上金	2,966,767円
●寄付者様	946名
●利用者様	7,383名



- ① 子育て支援: 子ども食堂の場所代、人件費、わいわい広場の家賃に使用しました。
 - ② 居場所: 食堂屋根の雨漏り、居場所キッチンパネル張替、北側出入口のリニューアルに使用しました。
 - ③ 情報紙東灘ぱらボラ: 編集、新聞折込に使用しました。
- ※今後もご不用品の寄付で活動をお支え下さい



上記の報告にあるように、リサイクル品の売上金を使用し、3月に各広場の壁面をキッチンパネルに張り替えました。また食堂の雨漏り修理を行ったおかげで、大雨や台風の季節も安心して迎えられます。さらに北側道路に面した出入口の壁面を強化ガラスにし、かわいいデザインを入れてリニューアルしました。(写真上)

残念ながら新型コロナウイルスによる活動自粛のため、シャッターも閉め切っていました。そのため、6月1日まで皆さんに見ていただくことができませんでした。来られた時はぜひ見て下さいね。

資金面で活動をお支え下さい

- ◆私たちは住民参加型の助け合い活動を通じて誰もがいつまでも自分らしく暮らせるまちづくりをめざしています。活動の趣旨にご賛同いただき、各種カルチャーや介護予防サロン、子育て支援等、利用会員やご家族様も資金面でのご支援をお願いします。
- ◆事務局に直接お持ち下さい。又は郵便局から下記にお振込みをお願いします。

- 【正会員】 組織の意思決定の権限(議決権)を持つ会員です
- 【賛助会員】 資金面で支援していただく会員です
- 【子ども未来寄付】 「わいわい広場」「子ども食堂」等の充実に使います
- 【助け合い寄付】 家賃の一部や環境整備等の一部に充当します

●正会員	個人	年間5,000円 (月417円)
●賛助会員	個人	年間3,000円 (月250円)
●賛助会員	団体	年間10,000円(月833円)
●子ども未来寄付	ご寄付は1000円以上でお願いします	
●助け合い寄付		

◆振込先	郵便局
◆振替口座	01140-9-88648
◆名称	東灘地域助け合いネットワーク



〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6-15-17
 TEL: 078-843-4029 FAX: 078-842-2907
 午前10時～午後6時(日・水 休み)
 (URL) <http://hnw.or.jp>
 (Mail) info@hnw.or.jp
 発行責任者: 村山メイ子

設立25年の新たなチャレンジ 理事長 村山メイ子

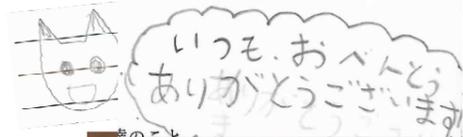
阪神淡路大震災から25年が経過し、助け合いネットは2月2日設立25年を迎えました。この節目に助け合い活動の四半世紀を振り返ると共に、次の25年に向けて動き出そうとしていた矢先に、新型コロナウイルスが日本でも流行の兆しを見せはじめました。未曾有の事態に使命の後退を余儀なくされ、2月末より介護予防サロンを休止し、4月からすべての居場所事業を中止にしました。

コロナを境に、私たちが使命としてきた「人と人のつながり」は感染拡大を招くリスクとなりました。突き付けられた課題はあまりにも大きく、今後の活動に課題を残しています。

これからは3密などの制約を守りながら、これまでとは違う形のつながりにチャレンジしていきます。活動を継続していくために、今こそ25年間の経験や人脈を活かして、事態に機敏に対応していかなければなりません。また皆様お一人お一人のご理解とご協力を必要としています。より一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

子どもにお弁当配布で家族に笑顔を!

新型コロナウイルス渦における休校、休園に伴い、子どもたちは友達に会えない、友達と遊べないなどのストレスを抱え、ご家庭では勉強の心配や昼食づくりの負担が増えました。助け合いネットはこんな時だからこそ、ご家庭が笑顔になれるようにと、4月2日～5月末日の水・日・祝を除く35日間、約1,000人の子どもにお弁当を配布しました。フードバンク関西、コープこうべ、東灘区社会福祉協議会から寄付された味噌汁、うどん、お菓子なども添えました。またご利用者様から折り紙のコマもプレゼントしていただきました。



※子どもたちが書いたメッセージの一部を紹介します

毎日おべん当をとりに行くのがたのしかったです。学校がながいあいだなくてたのしいけどべんぎょうのしかたがわからないのでこまります。おべん当をとりに行く帰りに公園でおそぶのがたのしかったです。

わいわい広場で遊ぶのは楽しかったです。お弁当もおいしかったのでまたきたいと思いました。本もおもしろかったしオセロなどのあそびもたのしかったです。そうじも家でそうじを使ったことなかったのがたのしかったです。

友達とおわかれ会が出来なくて、少し、さみしかったです。学校で友達と遊べないのが、さみしかったです。3月の中頃に2ヶ月ほど遊べなくなったのが、悲しいです。

※この活動は神戸市の「協働と参画」推進助成をいただき実施しました

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業自粛と再開

事業名	自粛期間	再開予定その他	通常通り実施した事業
・さわやかサロン (火・木・土)	2/28～6/21	6/23から短時間で再開	・生活支援事業 ・住民主体訪問サービス
・つどいの場	3/1から中止	再開未定	・居住支援事業
・さわやかカルチャー	2月から徐々に中止	6/1から一部再開	・自転車駐輪場業務
・おしゃべり同好会	2月から徐々に中止	6/1から一部再開	・不法駐輪指導業務
・子どもカルチャー	3/3～6/14	3/26～3/27実施	・東灘ばらボラ発行
・子ども食堂	4月から中止	再開未定	・ひまわり畑
・わいわい広場	3/30～6/30	7/2から再開	ひまわり畑は学校休業 に合わせ開所時間を延 長し午前中から長時間 で活動を続けました
・ふれあい昼食会	3/23から中止	再開未定	
・ふりりカフェ	3/23から中止	再開未定	
・男の料理教室	3月から中止	再開未定	
・男組	4月～5月休み	6/13から再開	
・リサイクル店	4/9～5/31	6/1から再開	
・御影市場100周年行事	3/22(中止)	餅つきと抽選会協力中止	
・第19期会員総会	5/24(延期)	6/4役員のZOOM総会終了	
・設立25年記念行事	5/24(中止)		
・貸会場	2月から徐々に中止	7月から再開	

再開 子どもカルチャー

6月15日、学校の通常授業再開に合わせ、子どもカルチャーも再開しました。間隔をあけパーティションで密を避けています。



子ども英語教室

子どもたちの声

「そろばんと学校の両立がしんどいな」
「毎日6時間授業になったけど友達に会えるからうれしい」
「給食時間も休み時間もしゃべれないけど学校は楽しい」



子ども習字教室



子どもそろばん室

再開 介護予防サロン (火・木・土)



火曜サロン

6月23日(火曜サロン)
間隔を十分に取って、通常より時間を半分にし、飲食禁止の制限付きで再開しました。



木曜サロン

6月25日(木曜サロン)
教室形式に座り、フェイスシールドとマスクで集まりました。(写真上)
人気のマーじゃんは二部制にし、定員も半分以下にして開催しました。(写真下)



木曜サロン

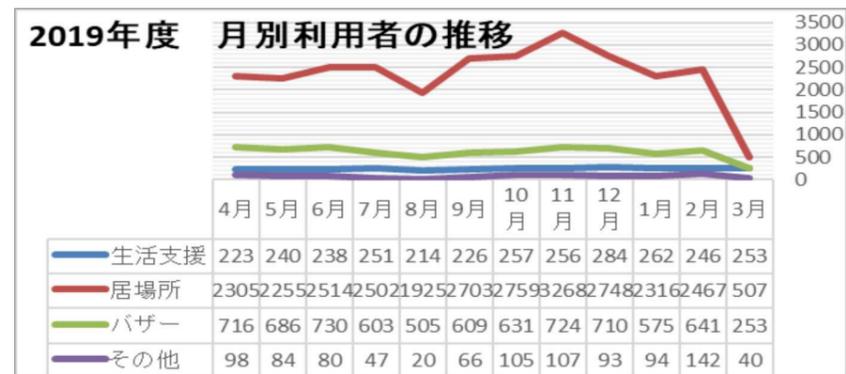
年間利用者数の報告 (2005年～2020年)

2005年から14年間、利用者数はほぼ右肩上がり増加を続け、2019年度も1268人増加し、過去最高を更新しました。この1年間で特に利用者が増えた事業は居住支援・生活支援等の相談業務、高齢者のさわやかサロン、子ども習字、わいわい広場、子ども食堂などとなっています。また新規カルチャーのウクレレ教室、大人習字、子どもの造形教室なども増加の要因となりました。



月別利用者数の推移 (2019年4月1日～2020年3月31日)

一年間の月別の推移では居場所事業とバザーが新型コロナウイルスの影響を顕著に受けました。バザーが2月641人から3月253人に約6割減少し、居場所事業は2月2467人から3月507人に約8割減少しました。その一方で生活支援はほぼ変化なく推移しました。



寄付の報告 (2019年4月1日～2020年3月31日)

NPOの活動は多くの市民から共感され、応援されることが望ましく、寄付金はそのバロメーターになります。そのため、今年度の重点目標に寄付の拡大を掲げていましたが、目標額120万円に対し、60.6%の727,584円に留まり、目標を達することはできませんでした。

寄付の内訳

- ①寄付金: 5店舗の家賃の一部に補填しました。
- ②助け合い募金: 高齢者の朝のゴミ出しと生活支援の事業費に使用しました。
- ③子ども未来募金: 子ども食堂の食材費に使用しました。

ご支援ありがとうございました。
引き続きご支援をお願いします。

